

久山中便り

二学期の総括

終業式

久山中学校

令和7年12月24日発行

第64号

一ダ一学年として、ふさわしい姿になれるよう頑張ります。【二年生Aさん】

冬に近づくにつれ、昼休みに勉強している人も増え、受験に向けての意識が学年全体で高まつたような気がします。二学期を振り返ると、文化発表会では、各学級が切磋琢磨し最高の行事にすることができました。冬休み直前の今、待ち受けるのは受験となります。

つい気が抜けてしまいがちな年末もしっかりと入試のための学習に取り組み、悔いの残らないような休みとなるようにしたいです。【三年生Eさん】

今までの私は過程よりも結果が大事だと考えていました。もちろん結果は大事で、うまくいかなかつたときの悔しさはありますが、何度も練習を重ねて一人一人が目標に向かって協力し、成長できること。それが大切なものだと感じています。この成長したこと、で

きたことを忘れずに三学期も引き続き頑張ります。【生徒会役員Iさん】

三学期はそれぞれの学年の締めくくりの期間。有終の美を飾れるよう「結果」を大切にしつつ、「過程」での取り組みを充実させてくらべることを目標に行動しました。班別自主研修では、教科書や資料集でしか見たことがなかつた建築物や美術品などを見て实物の迫力に驚きました。仲間と寝食を共にしたことを通して、今まで以上に絆を深めることができました。もうすぐ三年生になるので、リ

では、挨拶についてお話をしました。

ある会議に参加した際に、年配の方が、行動や言動を他者に働きかけるときには、「心を込める」とが大切だとおっしゃいました。

例えば、来客がいらっしゃったときに、履き物を準備して並べておくだけなのか、それとも、心を込めて揃えておくのか。その揃え方の状態をみただけで、真心を込めたおもてなしかどうか、分かるとのこと。

学校の中でも、そんな様子を感じる場面に出会います。部活動の練習に来ているバレーボール部の部員たちが、体育館の入口に下靴をきれいに揃えて練習に臨んでいます。それを見ると、こちらも爽やかになると同時に、なんだか嬉しい気持ちになります。

挨拶も同じことが言えます。

最近は、みんな気付いてくれて嬉しいのですが、寒い朝にもポケットから手を出して挨拶してくれます。そんな些細な仕草をするだけで、こちらも嬉しくなります。

また、声を出して、私より先に挨拶してくれる人もいます。自分から先に、それも、笑顔の挨拶は、心が込められているなど感じますし、私の心も笑顔になります。

年末年始は挨拶の機会が増えます。心を込めた挨拶で、相手の気持ちを笑顔にしてほしいと思います。

始業式は、一月八日(木)です。

新年に、また元気に再会しましよう。

年末年始は、年賀状（今は少なくなつてきましたが…）をはじめ、親族の集まりなど挨拶をする機会が増えます。そこで、終業式